



Terafence Vsecure 100

Where Every IoT Counts



IoT/NoT (Network of Things) に関するアプリケーションやデバイスの急成長により、サイバー攻撃やハッキングによるリスクおよび脆弱性の問題は新たな局面を迎えています。特に、医療や産業インフラ、交通機関といったミッションクリティカルな領域ではこうした問題は深刻です。このような脅威から十分にプロテクトされていないIoT/NoTシステムは、重大な経済的損失をもたらし、さらには、人間の生命をも危険に晒すこととなります。

Terafenceが開発した「Terafence Vsecure 100」は、成長著しいBMS (ビルマネジメントシステム)、スマートファクトリーやスマートシティ/スマートコミュニティなどのIoT/NoTにおけるサイバーセキュリティ領域でのセキュリティニーズに完全にマッチした製品となるよう、独自に考案設計されています。

「Vsecure 100」は、IoT/NoTデバイスが他者から不正にコントロールされたり悪用されることのないよう、データが伝送される“方向”を、物理層および論理層において制御します。また「Vsecure 100」は、ネットワークの安全を確保するために、非常に先進的なアイソレーション (分離性/隔離性) アーキテクチャを採用しており、ハッカーによるIoTデバイスへのアクセスを遮断します。さらに「Vsecure 100」は、サイバー攻撃の手段として利用されないように、ネットワーク上の既存のデバイスから外方向へ送出されるデータトラフィックを制限することができます。

「Vsecure 100」は、効率的なIPカメラの制御と管理を実現するために中心的な役割を担う独自のプラットフォームを提供します。これにより、パスワードの変更やファームウェアの更新を自動的に行うことが可能になります。また「Vsecure 100」はIPカメラの動作をモニタリングし、それぞれのカメラに関する警告 (アラーム) や各種レポートの生成も行います。

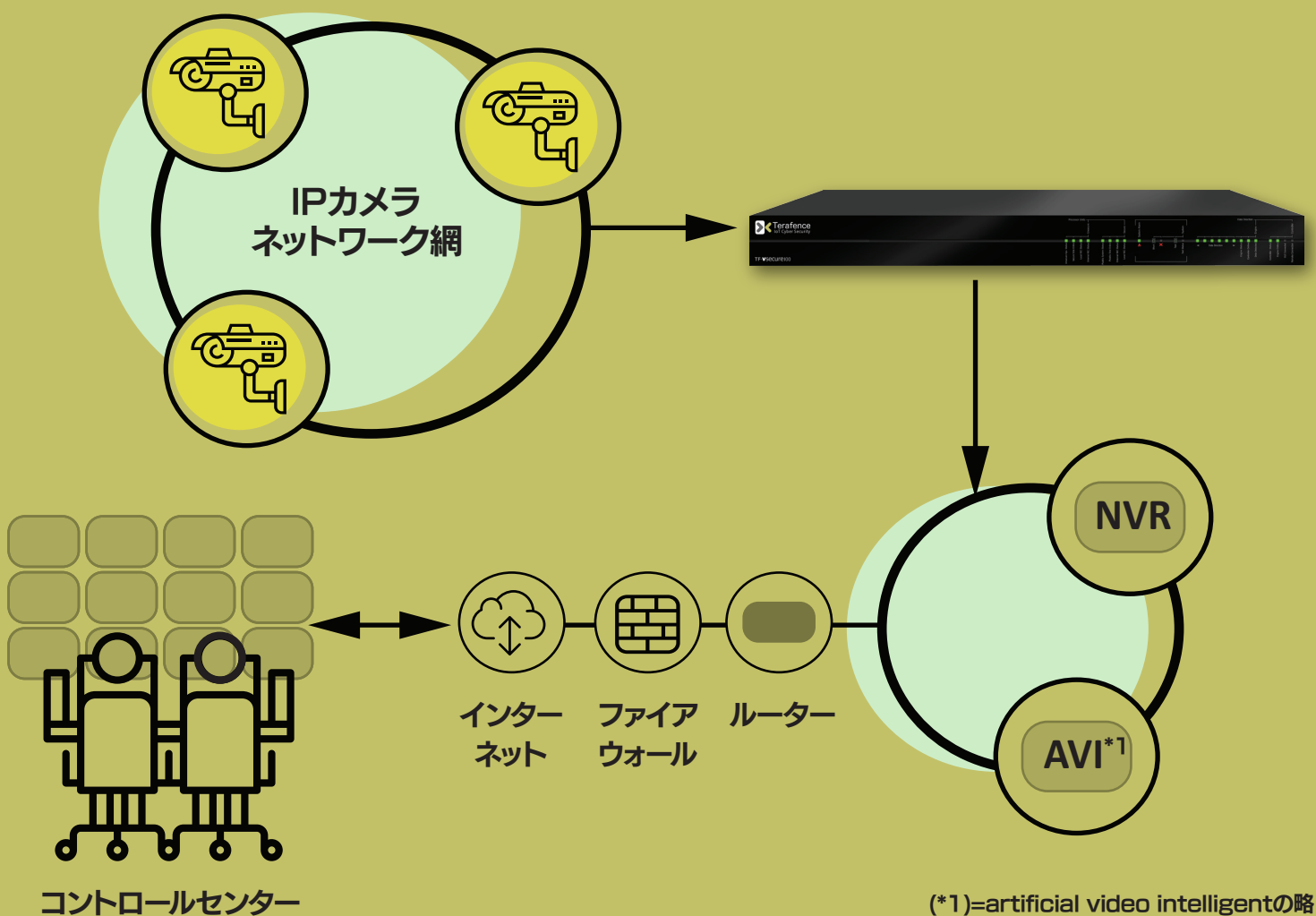
セキュリティ機能

- IoT/NoTデバイスのセキュリティ確保 (ネットワーク経由でのTCP/IPベースの攻撃への耐性)
- 物理層、論理層でのデータ送信の方向の制御
- 物理、論理の両方で情報の流れを完全にブロック
- IPカメラのパスワード管理機能 (任意の時間間隔にて管理可能)
- 4つの独立したセキュリティレイヤーと1つの統合レイヤーにより、強固でセキュアなソリューションを実現
- カメラ (H/W) の電源制御機能 (時間やイベントまたはロジックで設定可能) *
- 動画のストリームの不正閲覧を防止 (本機独自のデータフロー方向制御機能および暗号化されたデバイスマネジメント機能により実現:後者はオプション) **
- カメラの運用時の警告 (アラーム) や各種情報、統計情報の提供機能
カメラがダウンした時刻、カメラ毎のビットレート設定、ビットレートの最大&最小値、閾値、その他統計情報
- カメラの管理と制御のための独自ツール
- カメラの破壊や改変 (アングル改変など) の警告*
- 独自圧縮技術による動画のデータ転送量の大幅削減 (CRI DietCoder®利用) **
- ウイルス感染の疑いのあるデバイスやネットワークからの即時切断機能
- ハイスループットを実現
- ロードバランシング機能 **
- 冗長性とVsecureがスタックしたときの自動変換機能**

* 将来のリリースで追加 ** オプション

ハードウェア仕様

- 19" half-sizeラックマウント
- 2x110/220V、50/60Hzの入力、各90ワット
- 2xRJ-45 Gigabit イーサネット CAT-7ポート
- フロントパネルのLED表示によりリアルタイムな状況把握が可能
- 20、50、100までのビデオチャンネルをサポート(機種に依存)
- 25 fpsまでの動画ストリームの転送
- 直接的な攻撃を受けた後のユニットの自己再生機能



CRI DietCoder®

※「DietCoder」は、日本およびその他の国における株式会社CRI・ミドルウェアの商標または登録商標です。

お問い合わせ

株式会社CRI・ミドルウェア

Tel 03-6418-7081

<https://www.cri-mw.co.jp/contact/>

Terafence Ltd.

www.terafence.com

info@terafence.com